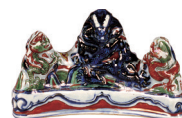


特別展

墨の世界

ながれ・いろどる



【安東聖空旧蔵品】

右上から：《明赤絵画》《螺鈿硯屏》《明万曆赤絵筆架》

左上から：《明墨 福祿寿》《堆朱筆筒》《黄南京筆洗》《蒔絵筆管》

※作品、資料の所蔵は全て神戸市立博物館

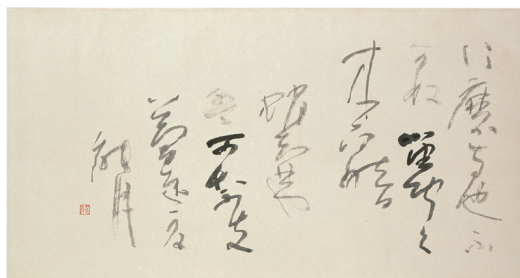
安東聖空、深山龍洞、山下摩起 — 神戸市立博物館のコレクションから —



安東聖空《秋のこゑ》1978



山下摩起《鷺》1961



深山龍洞《芭蕉俳句二句》1977

2023年7月1日(土) ~ 9月3日(日)

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(ただし7月17日は開館)、7月18日

入館料：一般800(600)円、大学生400(300)円 ※()内は20名以上の団体料金

- 高校生以下無料(学生証、生徒手帳などをご提示ください)
- 神戸市居住の65歳以上の方は、年齢と住所が証明できるものをご提示いただくと400円
- 障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ミライロID」などのご提示で無料

主催：神戸ゆかりの美術館、神戸新聞社 特別協力：神戸市立博物館

神戸ゆかりの美術館

KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1

TEL(078) 858-1520 FAX(078) 858-1522

<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

墨の世界

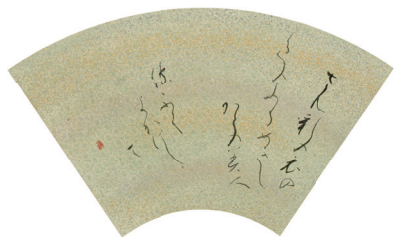
ながれ・いろいろ

神戸市立博物館のコレクションから、神戸のかな書を代表する安東聖空(1893-1983)、深山龍洞(1903-1980)そして、画家・山下摩起(1890-1973)の作品を紹介します。彼らは神戸を活動の場とし、2023年が生誕や没後の周年にあたります。これを期に、その制作をあらためて顕彰するとともに、古来より日本で親しまれてきた墨が、書と絵画においてそれぞれ幅広い豊かな表現を可能にしていることにまなざしを向けていただければと考えます。

記録のためなどの“実用的ツール”として生み出された記号や文字。やがて文字は、実用性はそのままに、使用場面に応じて形、線質、書く材にこまやかな配慮がなされ、精神性や宗教性、装飾的要素、楽しさや力強さといった感情に訴えかけるような表現、さらには、書かれた歌の情景をいきいきとイメージさせる文字の構成や配置に心が配られるようになります。日本においては中国を起源とする漢字から仮名が生み出されたことで、表現の多様性が一層豊かになったと言えるでしょう。それは、墨で描かれた絵画においても同様で、はじめは中国に学んだ水墨画のスタイルも、日本の自然に即した、また、日本人の道徳観や思想、感性を反映させた内容へと変化を見せます。山下摩起の水墨画は、力強い躍動感と抽象的表現、描かれた対象に宿る生命感が心を動かしめます。

本展では、安東聖空と深山龍洞の書および山下摩起の絵画と、書制作の背景にある精神世界へと誘ってくれる安東旧蔵の古墨や硯をはじめとする文房具や骨董など約220件を紹介いたします。

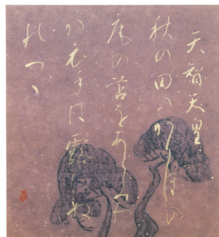
中国では古くから「墨に五彩あり」といわれます。3人の作家の個性が展開する豊かな世界、墨がながれ・いろいろ、それぞれの形象をお楽しみください。



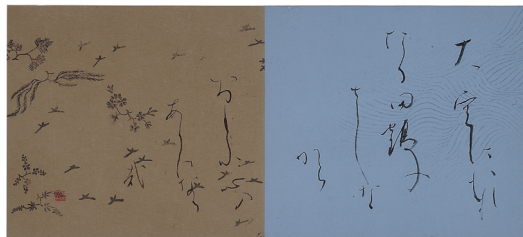
安東聖空《さん彩》(自詠) 1976年



安東聖空《白秋》 1977年



安東聖空《聖空百人一首》 1978年



安東聖空《大空に》制作年不詳



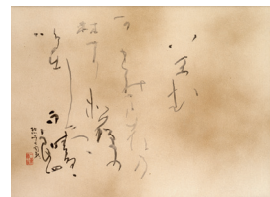
深山龍洞《つきの夜》 1962年



深山龍洞《小町集、高光集》 1937年



深山龍洞《清正集》 1951年



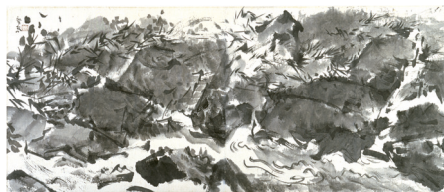
深山龍洞《松蟬》 1971年



山下摩起《金剛力士(I)》/《金剛力士(II)》/《金剛力士(III)》 1959年



山下摩起《菩薩座像》 1961年



山下摩起《溪流》 1961年



山下摩起《瑞鳥》制作年不詳

解説会

- ・7月1日、7月15日、7月29日、8月12日、8月26日 いずれも土曜日
- ・午後2時から(約30分間) 映像室にて学芸員による解説
- ・定員40名 ・当日先着順

※参加費は無料ですが、一般および大学生の方は当日使用できる特別展観覧券が必要です。

子供のためのワークショップ

ちょっと早いけど、来年の年賀状をつくってみよう!

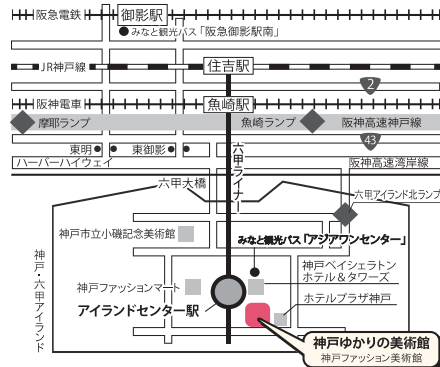
①7月22日、②8月5日、③8月19日 いずれも土曜日 午後2時~4時

対象: 小学生~高校生

定員: 16名(★事前申し込みが必要です。応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(※付き添いの保護者の方は団体割引を適用した入館料が必要です。)

★美術館HPからお申込みください。



【交通】

電車 JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」乗り換え、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐバス「阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
※車でのお越しの方は美術館隣接の神戸ファッションプラザ駐車場(有料)をご利用ください。

本展および関連イベントは、今後の諸事情により変更する場合があります。
最新の情報は美術館公式HPでご確認ください。

神戸ゆかりの美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
TEL (078) 858-1520 FAX (078) 858-1522
<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

